

令和4年度 自 己 評 価 表

愛媛県立松山商業高等学校 定時制
学校番号 (25)

教育方針	個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間の育成に努め、新しい職業観のもとに豊かな情操を身に付け、勤労と責任を重んずる資質を養い、国家社会の有為なる形成者として創造性と実践力に富む心身ともに健全な商業人の育成を期する。	重点目標	地域社会に根ざした商業教育の推進 — 地域の持続的発展を担う人材の育成 —
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
教科指導	各種検定試験への挑戦	各種検定試験の取得に全員が挑戦すること(挑戦率100%)を目指します。 A:100%、B:99%~80%、C:79%~60%、D:59%~40%、E:40%未満	A	生徒全員が各自の学習到達度に応じた検定試験及び上位級に挑戦した。挑戦率100%を達成した。	引き続き学習到達度に応じた検定試験に挑戦させ、自信や達成感を味わわせる指導を心がけていきたい。
		各種検定試験合格率70%以上を目指します。 A:70%以上、B:69%~60%、C:59%~50%、D:49%~40%、E:40%未満	C	本年度の合格率は59.0%であった。昨年度の合格率は65.3%であったのでやや低くなった。上位級への挑戦が多くみられた。	生徒の検定試験への意欲を高めるとともに、きめ細かい指導を粘り強く継続していきたい。
	漢字テストへの挑戦	漢字テスト平均80点以上の生徒50%以上を目指します。 A:50%以上、B:49%~40%、C:39%~30%、D:29%~20%、E:20%未満	A	漢字テストの平均点が80点以上の者は、54.5%であった。昨年度の27.8%からかなり向上している。また、回数が進むにつれ、難易度も高くなるが、平均点の低下もあまり見られなかった。	漢字テストにより、勉強すれば成果が出る、という成就感・達成感を体験することが、意欲を持って継続的に勉学に励む姿勢につながるため、今後もこの状態を維持していきたい。
	分かる授業の展開	分かりやすい授業を実践し、授業の満足度100%を目指します。 A:100%、B:99%~90%、C:89%~80%、D:79%~70%、E:70%未満	C	生徒アンケート「基礎・基本が身に付いてきているか」は前年から0.2上昇し3.1(80.9%)。「楽しい授業になっているか」が0.1下降し3.0(76.2%)となっている。	生徒の授業態度は積極的に感じられ、毎日分かる喜びを感じている様子である。本校は電子黒板等が充実しているため、活用方法を研究し、活用場面を増やしていきたい。
特別活動	学校行事への参加	生徒が主体的に学校行事に取り組み、学校行事の満足度100%を目指します。 A:100%、B:99%~80%、C:79%~70%、D:69%~60%、E:60%未満	B	生徒のアンケートにおいて「学校行事の実施内容は適切で、積極的に参加でき充実していますか」という問いに対して肯定的な回答をしたものは、95.2%であった。	集団での活動を苦手とする生徒もおり、目標の100%達成は難しい場合もあることが予想されるが、生徒の意見を取り入れながら学校行事を充実させていきたい。
生徒指導	出席率の向上	出席率90%以上を目指します。 A:90%以上、B:89%~80%、C:79%~70%、D:69%~60%、E:60%未満	B	出席率は89.7%である。なお、休学者の欠席数もカウントした結果である。	1・3年生の出席率は90%を超え、目標達成の水準に到達した。2年生は、90%までに若干足りなかった。4年生の出席率は、前年度に比べ出席率が上昇しているが、低かった。次年度は全学年で出席率の目標が達成できるよう指導を徹底していきたい。
	1か年皆勤者	1か年皆勤者・精勤者30%以上を目指します。 A:30%以上、B:29%~25%、C:24%~20%、D:19%~10%、E:10%未満	B	1か年皆勤者は3名、精勤者は3名で、昨年度に比べ改善された。	学期間皆勤賞を短期的目標として挑戦させ、最終的に1か年皆勤者を増やしたい。
	挨拶の励行	さわやかな挨拶ができる生徒100%を目指します。 A:100%、B:99%~90%、C:89%~80%、D:79%~70%、E:70%未満	B	ほとんどの生徒が、校内での挨拶ができています。授業の開始や終わりの挨拶もさわやかな挨拶ができています。	まだまだ受け身の生徒が多い。これからは、進んで積極的な挨拶ができるように指導していきたい。
	生徒理解	年間5回以上の個人面談を行うなど、生徒理解に努めます。 A:5回以上、B:4回、C:3回、D:2回、E:1回未満	B	各クラス担任は、年度初めに1回、学期末の面接週間に3回、年間計4回は最低限実施しており、この他にも随時面談しており、生徒理解に努めている。なお、教職員アンケート「年間5回以上の個人面談を行うなど、生徒理解に努めているか」の結果については、担任以外の回答が含まれているためである。	今年度は休学者はいたものの、退学者はなく、教員と生徒間の距離は近く、比較的良好な関係が保たれた。たいいていのことは相談できる望ましい関係であると思われる。今後、よりきめ細かい指導に生かしていきたい。
保護者連携	保護者の学校行事への参加	保護者の学校行事への出席率50%以上を目指します。 A:50%以上、B:49%~40%、C:39%~30%、D:29%~20%、E:20%未満	B	定時制の全保護者参加の学校行事はPTA総会(参観授業)及び運動会である。どの行事もおおむね10家族(保護者)の参加となっており45.5%の参加率であった。	コロナ下では主な行事は、書面開催となったり、保護者の参加を遠慮していただく状況がここ数年続いた。コロナ収束を見据え、保護者の方の参加を促していきたい。
		ホームページの更新を年間100回以上行い、生徒の活動状況を積極的にお伝えします。 A:100回以上、B:90回以上、C:80回以上、D:70回以上、E:70回未満	B	ホームページの更新は1月末時点で76回である。年度末には100回更新をめざしていきたい。学校生活の様子に関する情報発信ができています。	在校生のみならず、保護者や地域の方等にホームページを閲覧していただけるように内容等を工夫し、認知度を高めていきたい。
進路指導	進路実現の支援	各機関との連携を密に行い、進路実現100%を目指します。 A:100%、B:99%~90%、C:89%~80%、D:79%~70%、E:70%未満	A	生徒、保護者ともに納得する進路実現を達成した。また、卒業後も支援が必要な生徒については、関係機関と連携し、卒業後も支援が続く体制を構築できた。	キャリア教育をさらに推進していく。特に、進路選択や就職の情報提供に力を入れたい。
教職員	業務改善・働き方改革	年次有給休暇の取得率80%以上を目指します。 A:80%以上、B:79%~70%、C:69%~60%、D:59%~50%、E:50%未満	B	令和4年8月末時点での取得率は、70.6%であった。長期休業中等に休暇を取得するなど働き方改革を進めてきた。	取得率が80%を超えた職員が62.5%であった一方で、取得率が50%に満たなかった職員が37.5%いた。全職員が80%以上の取得となるように努めていきたい。

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。